

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
063622_最上町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	町内2小1中がCSの指定を受け、学校運営協議会が設置されて本格的に始動している。それに対応して各校に地域学校協働本部を設置し、地域の素材や人材を教育活動に活用できるよう、コーディネーターを配置している。特に生活科や総合、キャリア教育、部活動の領域においてその確保や育成、仕組みづくりを進めている。	地域学校協働本部事業が先行する形であったが、学校運営協議会との一体化を進めるために、町地域教育協議会がスタートしたことから、各校の具体的な活動の円滑な実現化を図る。	地域学校協働本部の役割と学校運営協議会の役割を整理しつつ、コーディネーターがその機能を発揮し、ボランティアが確保できるよう、町の地域教育協議会のさらなる充実を図る。	同じ地域に住む身近な人が学校支援ボランティアとして児童生徒の学びを支えるということは、子育て環境の好循環となり得ることであり、地域に対する愛着や地域に貢献する素晴らしさを体感することとなる。	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか。思うと答えた児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査より) どちらかといえば思うは除く。	小6 18.0 中3 22.2	%	小6 50.0 中3 40.0	小6 52.5 中3 37.3	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた	町ホームページ上
063622_最上町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	自主的・自律的な学習習慣の形成には、その学齢や発達段階に応じた小中の一貫した継続的・連続的な指導が必要であるが、特に中学校期においては、学習内容の量・質とも負荷が増すことから、形成されつつあった学習習慣が現状にフィットせず、学習意欲や学習成績の低下を招く生徒が増加する傾向にある。都市部と異なり、町内には民間の学習塾もなく、通うとしても車移動に30分以上かかることから、自主学習力を高めることは進路達成に大きく影響している。	9年間の学びのつながりを大切にしたい連携を掲げ、小中の共通テーマとして「自ら探究し、学びを深め、高め合う子どもを育てる授業づくり」に取り組む。	各校での授業改善のための研究活動を指導助言するとともに、教育委員会としての学力向上支援員、ICT支援の配置、図書コーディネーターの全校配置、中学校の地域学校協働本部事業「もがみサポート塾」、各種検定受検の主催と受験料一部助成等々を実施する。	中学校の地域学校連携協働本部事業「もがみサポート塾」で学習方法のアドバイスを専門家から受けることは、家庭での自主学習に好影響をもたらし、学習意欲の向上に結びつく。	「もがみサポート塾」の開設日の全生徒に対する利用生徒の割合	4.0	%	6.0	4.3	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる	町ホームページ上
063622_最上町	③学校と家庭の課題	読書習慣の定着・読書体験の充実				学習習慣の形成と相まって、学びのベースとなるのが読み、理解するという読解力である。読解力の基礎づくりは文字に触れる、本に親しみ読むことになる。公立図書館を有しない町にとって、各校の図書室はその重責を担う環境となる。図書コーディネーターを全校に配置し、図書環境を整備することは読解力向上の第一歩となり得る。	昼休みや放課後、学校が休みの日に本を読んだり借りたりするために学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。週1回以上は行くと答えた児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査より。ただし、調査用紙から質問が除かれた場合は、独自調査とする。)	小6 31.1 中3 13.3	%	小6 35.0 中3 25.0	小6 39.3 中3 20.0	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた	町ホームページ上
			・本年度の実績値、アウトカムの達成度に関する評価・分析、目標等の公表先を記載してください。 (目標等の公表先が未定の場合は公表先URLが確定する時期、公表先URLは確定しているが実績報告時に未掲載の場合は掲載予定時期を記載してください。 なお、目標等の公表は令和7年5月12日までに完了してください。)										
			・市町村名欄から本事業で達成する目標(アウトカム)欄までは本年度仮申請又は交付申請時に提出した内容をそのまま記載してください。										
			・ただし、目標の達成度を測る指標、現状の数値、本年度の目標値のみ、仮申請又は交付申請時の内容から変更可能です(県QA Q18参照)。 ※提出の際はこのテキストボックスを削除してください。										

※行が足りない場合